

# 平成30年度学校自己評価システムシート (県立所沢中央高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりを尊重し、能力、個性を最大限に伸ばすことを目指して、学習、進路、部活動、特別活動の指導に全体で取り組む学校
--------	--

重点目標	1 学習への自主的な取組を促すとともに、進路意識を高め、進路希望を実現できるよう指導をする。 2 コミュニケーションの充実を図り、環境美化につとめることによって生活環境を整え、規律ある生活を送る人間を育成する。 3 部活動・特別活動の自主的な取組を促し、学校生活を意欲的に送ることが出来るよう指導する。 4 保護者・地域との連携を強めると共に、生徒の積極的地域活動を促し、より開かれた学校をつくる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	12名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 1 月 1 7 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○授業態度は良好だが家庭での自主的な学習が不足している。進路の取組を通じて意識は高まっており、早期にかつ高い目標への取組を意識させたい。  ○一人ひとりの読書生活を質と量の両面から高めたい。	○保護者・生徒の進路意識と学習への積極性・理解度を向上させる。	①「進路ノート」「進路のてびき」を活用する。 ②授業や課題を工夫する。	①ガイダンスや各種テストを振り返りに活用できたか。 ②週末課題の提出状況と学習時間は改善したか。	さらなる意識向上が必要。 ①各学年とも実施し、振り返りに活用した。 ②課題の内容を工夫する。	B	1学年で実施したGTECを来年度も継続する。授業の大切さや学習の必要性について機会あるごとに説いていく。
		○図書館の魅力を生徒に知らせ、読書意欲を向上させる。	①除籍と選書により図書の入替を促進する。 ②図書委員会の積極的な活動を促す。	①展示や「本の旅」紙面は充実したか。 ②授業での図書館利用と貸出数は増加したか。	環境面の充実度が高い。 ①生徒が中心となって作成。 ②校内への広報が充実、授業での利用と貸出数が増加。	A	図書委員会による広報や図書環境の整備活動、読書意欲に応える選書を引き続き行う。
2	○社会的ルールやマナーに係る状況の改善と健康意識の向上により、安全管理についての自覚を促したい。  ○校内の緑化・美化の活動を通じて生徒が自主的に生活環境を整備するようにしたい。	○コミュニケーション力と規範意識を向上させ、安全・健康意識の自覚を高める。	①教員の指導意識の統一と外部機関との連携を促す。 ②保健委員会を活用して健康意識の向上を図る。	①状況に応じた指導内容の見直し・徹底ができたか。 ②保健だよりの作成や生徒への声掛けをすることができたか。	コミュニケーション力と安全意識の向上がより求められる。 ①教員からの積極的な声掛けが必要。交通事故件数は1学期をピークに減少。 ②生徒による意識啓発ができた。	B	交通安全教育の充実をはかり、教員から生徒への声かけ(挨拶)を積極的に行えるよう見直す。保健だよりの定期的な発行を行い、健康に必要な知識の伝達と関心を一層促す。
		○計画的かつ日常的な活動を通じ、緑化・美化意識を向上させる。	①ごみの分別やリサイクル活動についての啓発活動を行う。 ②花壇の植栽に美化委員とボランティアを活用する。	①事後アンケートの結果は良好か。 ②効率のよい実施に向け適切な準備ができたか。	美化意識の向上が見られた。 ①美化委員による活動が主体的かつ計画的にできた。 ②全校的協力の下実施した。	A	ペットボトルの洗浄廃棄の徹底を継続的に呼びかけていく。
3	○生徒会本部役員を中心に各委員会の行事運営及び情報発信が活発に行われている。行事を通じて学校全体をさらに活性化させたい。  ○2年次以降も継続して部活動に加入する生徒の数を増やしたい。	○全校生徒の行事に対する積極性を高める。	①生徒会本部と委員会が円滑に連携して情報を発信する。 ②これまでの記録を蓄積してよりよい行事運営に活用する。	①全校規模で生徒会や委員会の情報を共有できたか。 ②過去の反省点を行事の運営に反映できたか。	行事への積極性が高まった。 ①円滑な連携の下行事の実施や情報発信ができた。 ②これまでの反省点を活かしマニュアルを見直した。	A	今後も円滑に行事を運営していけるよう、各委員会・部活動との連絡を密に取っていく。
		○部活動への意識・意欲を向上させる。	①新入生が主体的に部活動選択できるよう情報発信する。 ②学校全体で部活動の継続と部員増加を図る。	①活動内容を具体的に知る機会を設定できたか。 ②部活動の広報や運営に関して学校全体が協働したか。	部活動への継続加入が課題。 ①できるだけ希望を活かした入部ができるようにした。 ②早い段階で退部してしまう生徒もいる。	B	各部活、学年に協力を仰ぎ、部活動の継続加入、実質的な加入数の増加を目指す。
4	○保護者や地域の理解と協力の下、学校が円滑に運営されている。三者の距離をさらに縮めていきたい。  ○生徒募集のための様々な取組が行われている。本校の魅力をこれまで以上に伝えていきたい。	○多くの保護者が行事参加できる環境を整え、地域との結びつきを強める。	①学校発、保護者発の情報が確実に共有できるようにする。 ②地域行事に学校として積極的に関わる。	①行事への保護者参加の多い状態は継続しているか。 ②地域からの支持は得られているか。	保護者、地域の支持は高い。 ①文化祭では約600名の保護者。PTA企画のべ135人。 ②行事全般、地域からの参加者が目立つ。	A	保護者への配布物について効果的な方法を工夫する。PTA行事については関係分掌と協力し保護者の興味・関心に応えていく。
		○本校の教育活動発信の取組を改善する。	①全教職員で本校のPR活動に取り組む。 ②ホームページの情報更新頻度を上げる。	①本校への入学希望者は増加したか。 ②ホームページへのアクセス数は増加したか。	発信の取組が改善できた。 ①1月の希望倍率は昨年度比0.11p増加。 ②HPの更新頻度改善。1日平均280件前後のアクセス。	A	引き続きホームページを改良し、本校の魅力をPRしていきたい。学校説明会については日程等を含めて改善点を検討していく。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 31年 2月 9日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>授業では習熟度別のクラス編成を行うことで対応しているが、週末課題については簡単すぎるという意見もあり、習熟度にあった課題があるとより活用できるのではないかと思う。全体的に先生方が生徒にしっかり向き合っていていねいに指導されているようすがうかがえる。</p> <p>交通事故防止・マナーの向上は生涯に続く財産である。ひきつづき取り組んでいただきたい。また、校地内外の整備に努めていただき、外周歩道のゴミ拾いは地域の人の見本になっている。生徒指導を通じて社会人となるべく、ルールを守る大切さをしっかり教えてほしい。時代の変化とともにルールの変更も必要だと思う。臨機応変な対応を望む。</p> <p>部活動が活発で行事運営も学校全体で取り組んでいると思う。文化祭は活気があり、部活動の枠を超えた展示を行うなど、見ごたえがあった。高校生は身体や心の変化、成長が著しい年代だが、適切な講習会が実施されており、よいと思う。個人個人にも目を向けた対応はたいへんであるが、今後も生徒の成長を見守っていただきたい。</p> <p>教職員や保護者が協力して運営していることがうかがえる。ひきつづき、地域に信頼され通いたくなる学校になるような活動の充実を望む。地域の人は行事等を通して学校とのかかわりを希望している。例えば、放課後の教室での見守りや部活動指導補助などのボランティアなどを募集したら、参加したい人がいると思う。</p>	